

Assistant Director. 第2回APWSSのChairmanを務め、また前フィリピン雑草学会会長。

L.C.Burriel (USA): オレゴン大学のIPPC専任研究員。熱帯地域の除草剤研究、指導に活躍。IWSSの運営委員の一人。

M.K.Mooloni (インド): 前インド雑草学会会長。現在インド農業科学会議副議長。

P.M.Mickael (オーストラリア): シドニー大学研究員。雑草ヒエ(Echinochloa)の分類、分布の研究を行なっている。

J.D.Fryer (英国): 英国のARC雑草研究所長、EWSの運営委員長。国際会議に度々出席、欧州の雑草研究第一人者。

P.C.Kearney (U.S.A.): 米国USDA(ベルツビル)の除草剤の土壌残留、土壌行動の研究の世界的権威。

M.Lambert (ニューカレドニア): 仏国よりの南太平洋委員会の農業関係責任者。APW

SS会議には連続参加。

む す び

以上第5回APWSS会議開催を前にして、これまでのAPWSSの経過、第5回会議準備状況の概略を紹介した。具体的なプログラムは仲々流動的であるが、この会議が外国よりの参加者のみでなく日本の参加者にとっても有益な情報交換の場であり、今後の世界的な雑草防除研究技術の健全な発達、ひいては食糧増産への貢献のための礎石となり、また我が国における雑草研究の認識、位置付けを見直す一つの機会になれば幸いである。最後にこの会議開催については、日本雑草学会、(財)日本植物調節剤研究協会による組織委員会のご協力、さらにまた農林省、学術会議などの後援が予定されており、本誌を借りて厚く感謝する次第である。

(筆者1973～75年度APWSS会長)

昭和49年度秋冬作芝生関係 除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

昭和49年度秋冬作芝生関係の委託試験成績検討会は、昭和50年7月22日、火曜日、東京(東京農林年金会館)にて、試験場関係者等15名、委託関係者等(会社関係者)33名参加のもとに、除草剤14薬剤の試験について、

成績の報告がなされ、活ばつな質疑、検討が行なわれた。

その判定等結果は次の通りである。

昭和49年度秋冬作芝生関係除草剤試験薬剤判定表

No	薬 剤 名 (種類名) <商品名>	剤 型	有効成分および その含有率	委 託 者 (会 社 名)	前 回 判 定	新 継 の 別	対 象 芝 種 類 名	対象雑草 種 類 名	試 験 担 当 場 所 名 (数)	今 回 判 定 結 果	判定理由、内容 そ の 他
1	2,4-D・ G-315 [2,4 PA・ オキサジア ゾン プラスコン R]	水 和	2,4 PA : 2,4 ージクロルフ ェノキシ酢酸 ナトリウム 50% オキサジアゾン : 5-tert ーブチル-3 ー(2,4-ジ クロル-5- イソプロポキ シフェニル) 1,3,4-オキ サジアゾン- 2-オン 10%	日産化学工業	実 ・ 継	継	コーライ 芝 (ヒメコー ライ芝)	イネ科お よび広葉 雑草一般	千葉農試, 柏GC, 新 沼津CC	実	[コウライシバ, ノシバ, ティフ トン] スズメノカタ ビラ等1年生 イネ科雑草発 生前0.75~ 1.0 g/m ² 全 面土壌処理 〔注: 薬害に 注意〕
2	A-820 [トルイジン系]	粒	N-sec-ブチ ル-4-tert ーブチル-2, 6-ジニトロ アニリン 4.0%	2,4-D協議会 日産化学工業 石原産業	実 ・ 継	継	芝一般	イネ科	東京農試, 静岡農試高 冷地分場, 総成CC, 小金井CC	実 ・ 継	実: [コウライ シバ, ヒメコ ウライシバ, ノシバ] スズメノカタ ビラ等1年生 イネ科雑草発 生前15~20 g/m ² 全面土 壌処理 継: 薬量アップ で広葉に対す る効果の検討
3	KH- 7205 [TCTP・ IPC]	水 和	TCTP: テト ラクロルテレ フタル酸ジ メチル 62.5% ICC: イソブ ロビル-N- (3-クロル フェニル)カ	キング化学	継	継	日本芝	スズメノ カタビラ 等秋イネ 科, 1年 生雑草	東京農試, 柏GC, 程 ヶ谷CC, 西日本グリ ーン研究所	実 ・ 継	実: [コウライ シバ, ノシバ] スズメノカタ ビラ等1年生 雑草発生前2 ~3 g/m ² 全 面土壌処理 継: 処理時期と 薬害との関係,

No	薬 剤 名 (種類名) ＜商品名＞	剤 型	有効成分および その含有率	委 託 者 (会 社 名)	前 回 判 定	新 継 の 別	対 象 芝 種 類 名	対象雑草 種 類 名	試 験 担 当 場所名(数)	今回 判定 結果	判定理由、内容 そ の 他
3	つづき		ーバメート 12.5%								広葉雑草に対する効果の確認
4	MT-110 〔ジフェニル エーテル系〕	水 和	2,4ジクロルー 6-フルオル フェニル-4 -ニトロフェ ニルエーテル 50% 〔1日 MO-500〕	三井東圧化学	継	継	芝一般 (薬害: ベントグ ラス, コ ウライシ バ)	イネ科を 主とする 1年生お よび多年 生雑草	東京農試, 程ヶ谷CC, 新沼津CC, スリーハン ドレッドC, 植調研究所	実 ・ 継	実:〔コウライ シバ, ティフ トン〕 スズメノカタ ビラ等1年生 イネ科雑草発 生前0.4g/m ² 全面土壌処理 継:対象草種と 薬量との関係, 薬害と薬量と の関係について 検討
5	R-7465 〔ナプロ バミド クサレス〕	水 和	2-(α -ナフ トキシ)-N, N-ジエチル プロピオンア マイド 50%	R-7465 研究会 芝生部会 〔トーマン, 日本農薬, 中外製薬, 東洋グリー ン, ストフ ァージャパ ン〕	(S49) 春夏作で「実・継」	新	日本芝全 般および ベントグ ラス	1年生イ ネ科広葉 雑草(ス ズメノカ タビラを 主とする)	千葉農試, 総成CC, 程ヶ谷CC 関西グリー ン研究所, 西日本グリー ン研究所	実 ・ 継	実:〔コウライ シバ〕 1年生イネ科 雑草発生前 0.3~0.6g/m ² 全面土壌処理 継:広葉雑草に 対する効果の 確認(対象草 種と効果の関 係について)
6	S-28 〔有機リン系 クレマート〕	乳	0-エチルー0 -(ラーメチ ルー6-ニト ロフェニル) -N-sec- ブチルホスホ ロチオアミデ ート 50%	住友化学工業	実 ・ 継	継	コウライ シバ, ヒ メコウラ イシバ	秋冬期発 生一般雑 草	千葉農試, 小金井CC, 相模原CC 関西グリー ン研究所, 西日本グリー ン研究所	実	キク科を除く 1年生雑草発 生前0.6~1.0 ml/m ² 全面土 壌処理 〔注:ただし ターフを形成 した芝生に限 る〕
7	SAP	粒	N-(2-メル カプトエチル)	東洋グリーン	継	継	日本芝お よび西洋	スズメノ カタビラ	柏GC, 程 ヶ谷CC,	実 ・ 継	実:〔コウライ シバ〕

№	薬 剤 名 (種類名) ＜商品名＞	剤 型	有効成分および その含有率	委 託 者 (会 社 名)	前 回 判 定	新 継 の 別	対 象 芝 種 類 名	対象雑草 種 類 名	試 験 担 当 場 所 名 (数)	今回 判定 結果	判定理由、内容 そ の 他
7 ひ き	[S A P ロンパー]		ベンゼンスル ホンアミドー S- (0.0- ジイソプロピ ルホスホロジ チオエート) 12.5%				芝各種	ほか1年 生雑草	関西グリー ン研究所, 西日本グリー ン研究所		スズメノカタ ビラ等1年生 イネ科雑草発 生前10~15 g/m ² 全面土 壌処理 継: 散布方法お よびキャリヤ ーについて再 検討
8	bensulide [S A P スコット・ウ イードグラス ブレンター]	粒	N- (2-メル カプトエチル) ベンゼンスル ホンアミドー S- (0.0- ジイソプロピ ルホスホロジ チオエート 8.5%	ITT, ファ ーイースト, アンド, パシ フィック (C.M. Scott & sons)		新	ベントグ ラス, コ ウライシ バ	スズメノ カタビラ ほか1年 生雑草	千葉農試, 程ヶ谷CC, 日本緑営芝 生研究所, 相模原GC, 中津川CC, 関西グリー ン研究所, 西日本グリー ン研究所 植調研究所	実 ・ 継	実: [コウライ シバ, ティフ トン] スズメノカタ ビラ等1年生 イネ科雑草発 生前15~22.8 g/m ² (専用 散布機により) 全面土壌処理 継: 剤型, 散布 方法について 再検討
9	simazine [C A T シマジン 500FW]	フロア ブル	2-クロルー4, 6-ビスーエ チルアミノー S-トリアジ ン 50%w/v	日本 チバガイギー		(実・継) (S48秋冬作分)	コウライ シバ	芝地1年 雑草	植調研究所	実	[コウライシバ, ヒメコウライシ バ, ノシバ] 雑草発生前 0.2~0.8ml/m ² 全面土壌処理 昨年の継続事 項を取り除き “ 薬害につい ての実態調査 をする ” との 注意事項を入 れる。
10	SK-41 尿 素 系	水 和	1-(α,α -ジ メチルベンジ	昭 和 電 工	実・継		日 本 芝 ティフトン	スズメノ カタビラ	東京農試, 程ヶ谷CC,	実・継	実: [コウライ シバ]

No	薬 劑 名 (種類名) ＜商品名＞	剤 型	有効成分および その 含 有 率	委 託 者 (会 社 名)	前 回 判 定	新 継 の 別	対 象 芝 種 類 名	対象雑草 種 類 名	試 験 担 当 場所名(数)	今回 判定 結果	判定理由、内容 そ の 他
10	つづき		ル)ー3ーメ チルー3ーフ ェニル尿素 50%					スズメノ テッポウ 等1年生 雑草全般	那須ナセリ ー、関西グ リーン研究 所、西日本 グリーン研 究所		スズメノカタ ビラ等1年生 イネ科雑草発 生前0.5~1.0 ml/m ² 全面土 壌処理 継：広葉雑草に 対する薬量増 加による効果 確認
11	SSH-36 [アシュラム ・アイオキ シニル アシュメッ クス]	液	アシュラム：N ーメトキシカ ルボニルスル ファニルアミ ド(Na) 23% アイオキシニル ：3.5ージョ ードー4ーオ クタノイルオ キシベンゾニ トリル 23%	塩野義製薬	継	継	日本芝	スズメノ カタビラ ほか1年 生雑草全 般	関西グリー ン研究所	継	薬量と薬害の関 係の再検討およ び温度と散布時 期の関係につい て検討
12	SY-72 [MCP・ レナシル シバゲン]	粒	MCP：2ーメ チルー4ーク ロルフェノキ シ酢酸 3.0% レナシル：3ー シクロヘキシ ルー5,6ート リメチレンウ ラシル 1.0%	石原産業	継	継	ベントグ ラスを含 む芝全般	越年生の イネ科広 葉型雑草 全般	東京農試、 にのみやC C、スリー ハンドレッ ドC、関西 グリーン研 究所、西日 本グリーン 研究所	実・ 継	実：[コウライ シバ] スズメノカタ ビラ等1年生 (イネ科)雑 草発生前10 ~20g/m ² 全面土壌処理 継：広葉雑草に 対する効果の 確認、剤型、 散布方法につ いて検討
13	TS-1	水 和	MCPP：2ー (2ーメチル	トーメン 昭和電工	実・ 継	継	日本芝 ノシバ	スズメノ カタビラ	柏GCC、島 ヶ原CC、	実・ 継	実：[コウライ シバ、ノシバ]

No	薬 剤 名 (種類名) <商品名>	剤 型	有効成分および その含有率	委 託 者 (会社名)	前 回 判 定	新 継 の 別	対 象 芝 種 類 名	対象雑草 種 類 名	試 験 担 当 場 所 名(数)	今 回 判 定 結 果	判定理由、内容 そ の 他
13 つづき	MCPP・ DSMA (SK-41)		—4'-クロロ フェノキシ) プロピオン酸 (K) 9% DSMA:メチ ルアルソン酸 ジナトリウム 塩 18% SK-41:1 (α,α -ジメ チルベンジル) —3-メチル —3-フェニ ル尿素 36%					スズメノ テッポウ 等	中津川CC		スズメノカタ ビラ(等1年 生イネ科雑草) 発生前〜始期 1.4~2.8g/m ² 全面土壌処理 継:DSMAの 効果(DSMA を混合する意 味)について、 翌春のハマス ゲ、ヒメクゲ 等の発生に対 する効果の確 認
14	TSN —048 [Diethaminic]	乳	NN—ジエチル —2,4—ジニ トロ—6—ト リフルオロメ チル—m—フ ェニレンジア ミン 25%	トモシェーリング	継	継	コウライ シバ	メヒシバ	茨城GC, 熊谷GC, 中津川CC, 富士宮GC, 東京よみう りCC	継	(有望であるが) 試験年次不足

新発売

水田多年生雑草防除に

バサグラン * 粒剤 水和剤

特 長

- 水田多年生雑草にすばらしい効果を示す。
- 散布適期の幅が広く、生育期(発生盛期〜増殖初期)散布での効果が高い。
- 稲にも、人畜・魚貝類にも非常に安全性が高い。

適用雑草 ミスガヤツリ・ホタルイ・フリカフ・ヘラオモダカ・水田一年生広葉雑草

効果と安全の信頼にたえる



東京都千代田区丸の内1-3-2

*は登録商標BASF社の商標です。